

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10) ・ 32 (12)	家族のカンファレンス参加は定着してきたが、今後についてや、重度化・終末期に向けた具体的な説明・話し合いの必要性を以前から感じていた。次のステージを考えるにあたり、ぬくもりの家の指針が当てはまらない場合ができた。	これまで同様、家族には年2回以上カンファレンスに参加してもらう。ぬくもりの家としての明確な指針を定めた上で、家族と今後の方向性について共に考えていく。	可能な限り家族に参加してもらえるよう日程を調整する。重度化・終末期に向けて家族の意向を知るためのシートを作成する。ぬくもりの家の指針を見直すための委員会を立ち上げ話し合い、明確化する。	12ヶ月
2	36 ・ 47	利用者の思いや願いは日頃から傍に寄り添い把握してきたが、実現に向け思い切った取り組みはあまりできなかった。	受け持ち職員がマンツーマンで付き添い外出するなど、年に一度でも利用者の思い・願い・希望を実現できるよう、受け持ちを中心に計画実行する。	利用者の思いを汲み取り、各受け持ちが中心になって、その思いを実現する計画を作成する。計画された内容をスタッフ全員で共有し、日程の調整・協力依頼などを行い実行する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。